

2007年度第2回日本学生オリエンテーリング連盟幹事会 議事録

2007年10月4日

広報部員 丸藤純

日時：9月15日（土） 15時～

場所：長野県上伊那郡飯島町 アグリネーチャーいいじま

◎出席者

○幹事・会計監査

氏名	役職	学校と学年	出席
奥田雄彦	幹事長	早稲田大学4年	○
西村徳真	副幹事長	京都大学4年	○
清水亜希子	会計	津田塾女子大学3年	○
稲垣孝宣	事業部長	京都大学4年	×
木村裕策	広報部長	早稲田大学4年	×
神山康	事務局長	早稲田大学4年	○
小林知彦	普及部長	名古屋大学3年	○
瀧沢真一	北東地区代表幹事	北海道大学3年	○
高松駿	北信越地区代表幹事	金沢大学3年	○
渡辺悠貴	関東地区代表幹事	慶應義塾大学3年	○
南部三王	東海地区代表幹事	名古屋大学3年	○
下堂文寛	関西地区代表幹事	京都橘大学3年	○
林太郎	中九四地区代表幹事	山口大学3年	○
藪田明野	会計監査	東京女子大4年	×

○理事・その他役員

山口尚宏	トレインコントロールワー キンググループ担当		○
塚信夫	普及部・組織強化担当理事		○
後藤陽一	諮問委員長		○
入谷健元	事業部員	京都大学4年	○
丸藤純	広報部員	岩手大学4年	○

1. 自己紹介

⇒上記出席者を参照。

2. 平成19年度予算案の確認

◎関東学連が事務局を使用しなくなったが、事務局の家賃はこれでいいのか？

⇒次回までに確認する。

3. 学連広報誌「いぶき」について

⇒次回に持ち越し。

4. アンチ・ドーピング講習会について

◎アンチ・ドーピングの趣旨を考えるとみんなが学んで当然のこと。

◎総会など各大学の人が集まる時に行い、話を聞いた人が大学内で話をする形にすればいいのではないか。

⇒講習会を義務付ける方向で進めるように、西協技術委員長に伝える。

5. 日本旅行契約確認

⇒資料がなかったために行わず。

⇒日本旅行との折衝役として、関東学連から事業部員を出す。関東学連代表幹事の渡辺がその事業部員を探す。

⇒インカレのアンケートは最終的にどんな宿に泊まりたいかになると思う。宿の予約から変えたいなら、1年前には動かないといけない。

6. 新歓政策について

⇒資料1参照

◎小学校でのレクリエーションはどういうつながりでいったのか？

⇒愛知教育大の先生が昔オリエンをしていて、その先生の個人的なコネで行った。今年が1校、去年は2校で行い、今年が去年行った小学校から依頼が来た。高校生以下への普及を考えた時に、大学の先生のコネや、母校に当たるのは有力だと考えられる。

◎HP・冊子について

○京大ではオリエンテーリングのいろはという冊子を作っている。学連の中心部が冊子を作ってもいいけど、次のようなサイクルで行ってみたいはどうか。

・各大学が作った冊子を日本学連に集めて全大学に公表。

↓

・各大学がそれを見て改善。

↓

・改善したものを日本学連に提出。

↓

・日本学連は改善されたものをまた全大学に公表する。

○アンケートで欲しいと答えた人たちが欲しているのは、新入生にオリエンを教えるものか、段階的にオリエンの成長を教えるものか？

⇒入ってきたばかりの新入生にどう教えればいいのかというもの。

○日本学連で作ってもいらないと言われるかもしれない。

○部の楽しさや雰囲気のアピールするのが大事なのではないか。

○新歓に成功している大学がどうやっているかを知るしくみがあるといいんじゃないか？

⇒ビラを集めてネットで公開する。ビラの収集や、webサイトの存在を呼びかける。

⇒いぶきを使って連絡してもいいのではないか。

⇒秋インカレ前の総会で、新入生向けの情報サイトを作る話をし、情報の提供を呼びかける。

7. 賛助会員勧誘計画

⇒資料2参照

◎賛助会員募集の広報

○窓口で賛助会員募集をしても、人が来るのかが疑問。

・要項に募集の告知文を載せて、申込時に振り込めるようにしては。

○賛助会員募集を手伝ってくれた大学には、賛助金をフィードバックしてもいいのではないか？

○大会の会計の混乱を招くのではないか？

⇒要項・プログラムに賛助会員の案内・説明を掲載して、学連の振込先を書く。

◎賛助会員の特典

○賛助会員の特典をアピールすることで、学連とは関係なかった人へのアピールになると思う。

○地区学連主催のイベントなどで参加費を安くしては？

⇒後援申請をしてきた大学に特典を義務付ける。

◎賛助金の額

○去年までは、賛助会員になればインカレのオフィシャルになることが出来たが、今年からオフィシャルになるために賛助会員になる人がいなくなるので、賛助会員を集めることが難しくなる。

⇒値下げをすれば集りやすくなるだろうから、来年度から賛助会員登録を2口（1口1000円）からにする。

⇒値下げをしても、これまでと同程度の金額を集められることを、今年度中に理事会に示す必要がある。

◎新しい賛助会員システムの試行

⇒小林普及部長が告知文などを作る。

⇒インカレのプログラムに掲載する。

⇒岩手大学・岩手県立大学大会と筑波大学大会で試行してみる。

⇒以下の3点を主催者に義務付ける。

①要項・プログラムで広報を行う。

②大会開催時に窓口を設置する。

③賛助会員に対しての特典を用意する。

8. 日本学連WEBへのコンテンツ追加要望

◎過去のインカレ上位者の記録がリンク切れ。

⇒何か不便なことがあったら、uofj-ml を使用して要望を出す。

◎地区学連のHP

○関西学連は日本学連のスペースへ移行する。

○北東は日本学連のスペースで新規に作る。

○北信越学連は人手不足もあり使わない。

9. 北東インカレ禁止区域立ち入り問題について

⇒資料3参照

◎少数運営とは？

⇒12・3人。

◎北東学連は人数が多いと思うが、運営者が少ないのはどうして？

⇒会計を圧迫しないため。

◎北東学連のセレクション通過者の扱いをどうするか？

⇒セレクション通過者の決め方は各地区学連に一任しているので、北東学連の決定に任せる。

◎報告書にある改善案をどの範囲まで適用するか？

⇒全部のトレインで行うのは難しい。

◎日光にも矢板のように渉外責任者を置いたほうがいいのでは？

⇒矢板地区のトレインはもともと筑波大学が管理していて、インカレの開催で日本学連の所有物になった。筑波大学は1年に1回市役所などに渉外をしていたので、所有権が日本学連に移ったあとも渉外責任者を置いている。

⇒今あるガイドラインを見直す必要がある。

⇒神山事務局長が不動の滝の立ち入り禁止区域を確認する。

10. JOA との連携について（競技保険について）

⇒資料4参照

◎日本学連はJOAの傘下ではない。

◎日本学連は法人格を持っていない。

◎JOAには金も人もない。

◎かなり前から連携の話が出ている。

○登録の1本化。

○公認大会での協力。

・大学クラブが開催する公認大会には、学連に登録している大学生は出れる。

⇒手伝える部分を見つけて、手伝っていくスタンスで進む。

◎競技保険について

○堺理事が文面で9月中に作る。

⇒参考案件をつける。

11. インカレミドルエリート競技者配分について

⇒資料5参照

◎関東ロングセレの女子枠。

⇒5枠余ったので、技術諮問委員会と関東学連の幹事で話し合う。

⇒神山事務局長から西村副幹事に男女別のデータを送る。

⇒西村副幹事は、地区学連から集めたアンケートを集計して公開する。

⇒技術委員会ではミドルを1本にすることも視野に入れている。

12. 部局会計について

⇒前回部局会計を作るようになったが、今年度は試験的に普及部だけ部局会計を作る。

13. インカレ実施規則へのドーピング関連項目の追加について

⇒次の総会で決定できるように、義務付ける方向で幹事長が草案を作る。

14. 諮問委員会報告

⇒資料6参照

15. 理事会報告

◎栃木県協会から塩谷地区のトレイン閉鎖の連絡があった。

◎インカレ

⇒外部への委託のコンセプトがぶれてきたので、再考している。物的・時間・お金で県協会などとwin-winになれることを考えていたが、今はうまくいっているとは言えない。

◎2008年度インカレミドル・リレー実行委員会

⇒2002年入学組みで行う。

◎矢板の全日本大会

⇒お金をきれいに清算できていない。足が出た分はJOAと日本学連で6:4で払うことにした。この決定を理事のみで行ったので、日本学連が支払う分は理事のポケットマネーでまかされた。

◎理事会は年齢の構成がいびつすぎる。

⇒若い人の感性をいれていくべき。

16. 技術委員会報告

⇒今回の報告は無し。

17. テレインコントロールワーキンググループ報告

⇒今回の報告は無し。

18. 各部局報告

◎事業部

⇒事業部会計に北川さんを任命したが、部局会計が必要なくなったので、何か違う仕事をお願いします。

◎広報部

⇒いぶきを配信した。各大学でいぶきを公開したら報告をお願いしていたが、その反応があまりなかったので反応をお願いします。

◎事務局

⇒資料7参照

○地図を作る時にトレイン開発申請を提出することになっているが、提出されなかったり、提出方法が守られてなかったりすることがある。

○過去のインカレの地図の処理方法を考える。

◎普及部

⇒新歓アンケートの中間報告を行った。日本学連総会までに加盟校向けにまとめる。

19. 地区学連活動報告

⇒資料8参照

20. その他

◎インカレの予算・決算を変えたい

○インカレ会計から地図代を分離。インカレで使う分は地図会計から出す。そうすると、次の奈良インカレで参加費を9000円から6000円に下げることが出来る。

○安くなった3000円で交通費の助成金が出せないか？

⇒次のような問題がある。

- ・お金の渡し方が難しい。
- ・3月だと卒業するからお金が渡しにくい。
- ・申告の正当性をどう確認するか。

21. 次回幹事会日程

⇒2008年1月12日（土）大阪付近で行う。

事業部長が宿を予約する。